

音声学から考える商標の称呼の類否 総整理第5回

弁理士 池山拓治

0. 日本語を俯瞰して考察する。

日本語についてより客観的に考察できるようにするため、多言語と比較しつつその特徴を述べます。特に誤解が多い分野です。

1. 日本語の特徴

以下の4点が代表的です。

① 語彙数が多い

岩淵悦太郎が『現代日本語』に詳しく書いているが、言葉をはば理解できるようになるのに必要な語彙数は主なヨーロッパ言語が約5千語であるのに、日本語は2万2千語とのことです。市販の『日常会話の単語』『でる順』『頻出単語』等の書籍を頭に入れることで、マスターしやすいのが外国語で、それでもなお日常会話にはついていけないのが日本語といってもいいでしょう。

また、敬語等の自身と相手との関係を考慮し、言葉を使い分ける仕組みを待遇表現といい、語彙を増やす複数の要因の一つです。丁寧語、尊敬語、謙讓語等の表現を有する言語は日本語以外にもあります。しかし、日本語は高度に発達し、複雑であることが特徴です。

② 表記が非常に複雑

日本語ではひらがな・カタカナ・漢字を同時に用いています。複数の表記システムを同時に混在させるかなり珍しい言語です。さらに、漢字は複数の読み方があります。

③ 音のパリエーションが少ない

定義によって数が大きく異なりますが、英語は母音の数が10超、子音は20超、同じくロシア語は母音が5ほど、子音が30超ですが、日本語は母音が5、子音が15前後です。日本語は他の言語に比べて、母音と子音の数が少ないといわれています。

④ 動詞の活用が単純

動詞の活用の主要素である性・数・格、時制が限りなく単純にできています。

言語によっては性が男性、女性、中性の3つ、数が単数、複数、双数の3つあり、格は5から15も有する言語もあり、1の語が100以上も形を変えることが珍しくないことを考慮すると、日本語の活用などとても単純です。なお、④は称呼の問題に影響しません。

2. 日本語の音声について

①②③からわかるとおり、少ない音の組み合わせで多くのことばを作ることになり、同音異字(同音異義語)も多数発生しますし、同音でない場合も称呼の類否が問題になる場面が多くなってしまふことは日本語の宿命といえます。

3. 日本語学習の難易度

日本語は他の言語と共通した祖語を見いだせない孤立言語ですから、ハードルが高いといえますが、文法的特徴の点では、世界の言語の主流を占めるグループに属しますから、メジャー言語と分類できます。一方で、存在感の大きい言語グループから見ると、日本語は異端で、マイナー言語と分類できます。

最後に、世界で最も存在感の大きい言語である英語から日本語をみた有名な分類を紹介します。米国国務省「外国語習得難易度」では日本語は「激ムズ」という最高難度に分類されています。

Category I Languages: 24-30 weeks (552-690 class hours)

Languages close to English.

Danish (24 weeks)	Dutch (24 weeks)	French (30 weeks)
Italian (24 weeks)	Norwegian (24 weeks)	Portuguese (24 weeks)
Romanian (24 weeks)	Spanish (30 weeks)	Swedish (24 weeks)

Category II Languages: Approximately 36 weeks (828 class hours)

German	Haitian Creole	Indonesian
Malay	Swahili	

Category III Languages: Approximately 44 weeks (1,012 class hours)

“Hard languages” – Languages with significant linguistic and/or cultural differences from English. *This list is not exhaustive.*

Albanian	Amharic	Armenian
Azerbaijani	Bengali	Bulgarian
Burmese	Czech	Dari
Estonian	Farsi	Finnish
Georgian	Greek	Hebrew
Hindi	Hungarian	Kazakh
Khmer	Kurdish	Kyrgyz
Lao	Latvian	Lithuanian
Macedonian	Mongolian	Nepali
Polish	Russian	Serbo-Croatian
Slovak	Slovenian	Tajiki
Thai	Turkish	Turkmen
Ukrainian	Urdu	Uzbek
Vietnamese		

Category IV Languages: 88 weeks (2200 class hours)

“Super-hard languages” – Languages which are exceptionally difficult for native English speakers.

Arabic	Chinese – Cantonese	Chinese – Mandarin
Japanese	Korean	

<https://www.state.gov/foreign-service-institute/foreign-language-training>

なお、上記の分類は英語を基準として言語間距離という観点から言語を分類したものです。学習歴や成育歴等の他の要素を排除していることから、普遍的に当てはまるものではありません。

以上